

令和 8 年度
公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会
事業計画書



公益社団法人 滋賀県臨床検査技師会

(ver-1)

目次

- I. 事務部
- II. 組織部
- III. 渉外部
- IV. 広報部
- V. 公益活動部
- VI. 精度管理部
- VII. 学術部
- 予算計画 (別紙参照)

I. 事務部

適正な法人運営が行われるよう、各種事項の管理・運営を行う

1. 令和8年度定期総会
開催日：令和8年6月5日（金） 開催場所：草津市立市民総合交流センター502号（予定）
2. 理事会の開催（定例：毎月第1水曜日、又は、必要に応じ）
3. 常務理事会の開催（必要に応じ）
4. 法人に関する各種契約・申請・報告に関することの管理
5. 技師会会議室の管理・運営（利用向上の促進）
6. 会員・関連団体の慶弔に関すること
7. 関連団体との連帯強化
8. その他、法人運営に関すること

II. 組織部

会員管理は元より、新入会員研修、青年部会、施設代表者会、厚生事業などを通じ、会員の交流を図りながら情報交換・情報共有の場とし組織強化を図る。

1. 会員管理

2. 新入会員研修会 開催日：令和8年8～9月（予定）
新入会員の技師会に対する理解を深める研修会を開催する。会員と役員との交流を通じて技師会活動、生涯教育、学術活動、青年部等 積極的な参画を促す。
青年部部員にも参加を願う。
3. 青年部研修会 年2回実施予定 開催日：未定
これからの技師会活動を担う後継者の育成を目的とし、青年部の基盤づくりを促す。
4. 施設代表者会（臨床検査技師長・責任者会議） 令和8年3月（予定）
技師会活動の話題、問題点等を討議する機会を持つ共に、会員間の交流、情報交換を促す。
5. 地域ニューリーダー育成研修会（施設代表者会議と合同開催 予定）
中堅以上の経験を有する者を対象に、滋賀県技師会で活躍できる次世代のリーダー育成を目的とする研修会を開催する。
6. 永年会員表彰 滋賀学会にて表彰
対象：滋臨技継続10年以上で、45歳以上の会員
7. 未加入技師への入会促進
組織強化の観点より、未加入技師の所属施設長から積極的に勧誘する。

青年部

1. 滋賀県臨床検査技師会 新入会員研修会

滋賀県臨床検査技師会が行う新入会員研修会に、青年部も宣伝を兼ねて、事業紹介の一部に入れさせていただく。

研修会には青年部委員も可能な限り参加し、新入会員の技師会事業への理解・他の技師との交流を深められる「架け橋」を担いたい。

2. 青年部研修会および意見交換会

開催日：未定、場所：未定

年一回以上の、県内会員に絞った研修会を企画・立案する。

今年度も若手会員を対象とした研修会を企画し、自己研鑽やコミュニケーション能力の開発などをテーマとし、研修会を企画・実行していきたい。

また若手会員の交流を図るため、令和5年度と同様の意見交換会も企画・実行する。研修会の内容や意見交換会の日程・会場などに関しては今後の青年部会議を進めていく中で検討していく。

3. 第65回近畿医学検査学会 シンポジウムの参加

第65回近畿医学検査学会で「奈良若草の会」企画のシンポジウムに参加する。

シンポジウム内で8分間滋賀県の青年部のこれまでの活動や今後の予定など展望を発表し、他府県の青年部と交流を深める。

4. 青年部 部会

今後の青年部研修会の内容や、技師会の組織活性化となるような企画の立案・会議を行うため、研修会までは1ヶ月に1回程度の青年部会を行う。

Ⅲ. 渉外部

1. 医療関係企業への賛助会員加入推進を図る。
2. 医療関係企業への会誌（滋臨技だより）広告の協力依頼を図る
3. 医療関係企業への滋賀県医学検査学会における学会賛助並びに滋賀医学検査誌広告の協力依頼を図る
4. 関係団体との連携・交流に関する事
5. その他渉外に関する事

Ⅳ. 広報部

講演会・研修会などの案内、臨床検査に関すること、理事会など各種活動報告、会員動向、求人に関すること、会員からの寄稿・投稿などを、会誌・ホームページを通じ掲載・配信する。メーリング会員の登録促進を図る。

1. 会誌「滋臨技だより」の発行
会員への情報伝達手段として、年3回発行する。原稿募集や編集の方法は随時工夫する。
今年度から郵送は中止とし、ホームページでの閲覧のみとする。
 - ・郵便料金の値上げに伴う発行形態の見直し
 - ・学会や研修会等の予定・報告の掲載
 - ・各行事報告の掲載
 - ・会員からの投稿・寄稿の掲載
 - ・行事・研修会等の予定の掲載
 - ・理事会議事録・会員動向等の掲載
2. 研修会予定表の発行
会誌（滋臨技だより）と同時に発行（年3回）とし、滋臨技主催の行事に参加するためのツールとして
情報発信を行う。
 - ・予定表による各部門研修会、報告会の案内

3. ホームページによる広報活動

会員が必要情報を早く、わかりやすく、アクセスできるようにホームページを随時更新する。

- ・日臨技・滋臨技研修会、精度管理報告会、事業等の案内
- ・学会情報案内
- ・会誌「滋臨技だより」の公開
- ・求人情報の掲載
- ・新着情報の掲載
- ・研修会案内メール・求人情報案内メールの発信

4. ホームページ委員会の開催

ホームページの運営を適正に行うため、委員会規程に従って協議する。年1回開催

V. 公益活動部

公益社団法人として、臨床検査の知識の普及・啓発を行い県民の健康づくりへの意識を高揚させるため、各地域の健康フェスティバルに参加する。また、日本臨床検査技師会の「臨床検査と健康・普及啓発月間」の11月には「検査と健康展」の地方会場として開催する。

企画の内容は、パネル展示や配付資料を用いて、臨床検査技師の業務や当会の事業を理解していただくとともに、検査を体験することで臨床検査を身近に感じていただく。更に小学生・中学生又は高校生を対象に臨床検査技師の仕事に興味を持てるよう、簡単な検査模擬体験などを行う。

1. 健康フェスティバルへの参画 (対象：県民・市民)

- ①一地区 長浜市健康フェスティバル 日時：令和8年5月頃 会場：未定
- ②二地区 湖南市健康まつり 日時：令和8年10月頃 会場：未定
- ③三地区 大津市健康フェスティバル 日時：令和8年10月中旬 会場：明日都浜大津
- ④その他要望があり、対応可能な時

2. 滋賀レイクファミリーボランティア協力 開催日：令和8年7月～8月(予定) 開催場所(未定)

3. 第11回「検査と健康展」(対象：県民・市民)

日時：令和8年11月(予定) 場所：未定

内容：検査と健康展(講演会、臨床検査技師紹介、がん検診・認知症検査啓発、臨床検査模擬体験、検査説明・相談コーナー、健康チェック体験 他)

4. 滋賀県がん医療フォーラム協力 日時：令和8年2月(未定) 場所：未定 内容：リーフレット配布、講演のオンライン配信

公益活動推進委員

委員	内林 佐知子	滋賀医科大学医学部附属病院	
委員	市浦 康子	独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院	
委員	秋永 佳那	高島市民病院	
委員	小寺 あおい	近江八幡市立総合医療センター	
委員	櫻井 千尋	地方独立行政法人 公立甲賀病院	
委員	國本 龍河	滋賀県立総合病院	

VI. 精度管理部

滋賀県内医療の均てん化と向上を目的に、臨床検査精度管理を実施する。

日臨技の精度管理システム JAMT-QC を活用した精度管理事業を継続する。

1. 精度管理部部門長会議 年3回開催予定

(令和8年4月、11月、令和9年1月)

2. 各部会精度管理報告会 (対象：医師、会員、他) 開催：各部会にて調整
3. 令和8年度 臨床検査精度管理報告会 (対象：医師、施設長、検査責任者、会員、他)
開催日：令和9年3月 (予定)
4. 各部会別事業計画
 - (1) 免疫化学部会
施設間差の是正及び正確性・精密性の追求を目的として実施する。
項目は、AST、ALT、LD、CK、ALP、 γ -GT、ChE、AMY、GLU、TP、ALB、UA、UN、CRE、T-Bil、Ca、IP、Mg、Fe、Na、K、Cl、T-CHO、HDL-C、LDL-C、TG、HbA1c、CRP、感染症 (HBs 抗原・HCV 抗体・TP 抗体)、腫瘍マーカー (PSA)、甲状腺 (TSH) の33項目とする。
各項目毎に評価を行い、目標値と乖離している施設については再度サーベイを実施する。
 - 1) 内 容 令和8年度事業について
開催日 令和8年 4月 開催場所 滋賀県臨床検査技師会 会議所
 - 2) 内 容 試料、要項について
開催日 令和8年 5月15日 (金曜日) 開催場所 滋賀県臨床検査技師会 会議所
 - 3) 内 容 試料準備
開催日 令和8年 7月25日 (土曜日) 開催場所 滋賀医科大学検査部
 - 4) 内 容 試料発送
開催日 令和8年 8月2日 (日曜日) 開催場所 滋賀医科大学検査部
 - 5) 内 容 データ入力と解析
開催日 令和8年 9月4日 (金曜日) 開催場所 滋賀県臨床検査技師会 会議所
 - 6) 内 容 追試サーベイ試料発送
開催日 令和8年 9月18日 (金曜日) 開催場所 未定
 - 7) 内 容 データ入力と解析
開催日 令和8年10月10日 (土曜日) 開催場所 滋賀県臨床検査技師会 会議所
 - 8) 内 容 免疫化学部会報告会の打ち合わせ
開催日 令和8年10月23日 (金曜日) 開催場所 滋賀県臨床検査技師会 会議所
 - 9) 内 容 文責文編集、次年度予定について
開催日 令和8年12月11日 (水曜日) 開催場所 滋賀県臨床検査技師会 会議所
 - 10) 内 容 免疫化学部門報告会 ZOOMにてオンデマンド
開催日 令和9年 1月18日 (月曜日) 開催場所 滋賀県臨床検査技師会 会議所
より2週間
 - (2) 血液部会
 - ・全血球計数、凝固検査は機器間差や試薬間差の把握・是正を目的とする。
 - ・血液像は正常細胞、異常を伴う細胞及び幼若細胞鑑別について施設間差の把握・是正を目的とする。
 - 1) 内 容 代表者会義内容と本年度年間事業計画の報告
開催日 令和8年 4月下旬 開催場所 滋賀県臨床検査技師会
野洲会議室
 - 2) 内 容 試料調整方法の検討、JAMT-QC設定、事務文書作成
開催日 令和8年 6月下旬 開催場所 未定
 - 3) 内 容 試料調整とサーベイ実施

	開催日	令和 8 年 8 月上旬	開催場所	滋賀医科大学医学部附属病院検査部
4)	内 容	サーベイ結果集計及び評価方法について検討		
	開催日	令和 8 年 9 月下旬	開催場所	未定
5)	内 容	報告会内容検討及び調整、個別報告書作成		
	開催日	令和 8 年 11 月中旬	開催場所	オンデマンド開催
6)	内 容	報告会開催,報告書作成		
	開催日	令和 8 年 12 月下旬	開催場所	未定

(3) 生理部会

・生理機能に関する波形や画像等の判定基準が、検査室において一定の水準と精度が保たれていることの確認および保証を目的とする。方法はフォトサーベイとし、例年同様 JAMT-QC を利用する。心電図、肺機能、超音波、脳波分野からの出題とする。

1)	内 容	フォトサーベイ問題案提起		
	開催日	令和 8 年 4 月	開催場所	Web
2)	内 容	フォトサーベイ問題決定、JAMT-QC の設定		
	開催日	令和 8 年 6 月	開催場所	Web
3)	内 容	フォトサーベイ結果集計		
	開催日	令和 8 年 8 月	開催場所	彦根市立病院 臨床検査科
4)	内 容	評価表作成、精度管理報告会準備		
	開催日	令和 8 年 9 月	開催場所	彦根市立病院 臨床検査科
5)	内 容	報告書作成、全体報告会準備		
	開催日	令和 8 年 11 月	開催場所	Web
6)	内 容	部門内報告会		
	開催日	令和 9 年 1 月	開催場所	彦根市立病院 臨床検査科
7)	内 容	全体報告会		
	開催日	令和 9 年 3 月	開催場所	未定

(4) 輸血部会

血液型、交差適合試験、試験管法による凝集反応の判定及び直接抗グロブリン試験について赤血球型検査ガイドラインに基づいた輸血検査を浸透させること、および、不規則抗体の検査症例をドライスタディ形式で実施し、消去法の実施や適切な適合血の選択ができることを目的とする。また、一定の評価に達しない施設へは指導を行い検査精度の向上を図る。

1)	内 容	試料と症例内容の検討		
	開催日	令和 8 年 4 月下旬	開催場所	滋賀県臨床検査技師会会議室
2)	内 容	JAMT-QC 設定および配付資料の準備		
	開催日	令和 8 年 5 月～6 月	開催場所	未定
3)	内 容	配付試料の準備		
	開催日	令和 8 年 7 月最終週	開催場所	未定
4)	内 容	配付試料の作製及び発送の準備		

	開催日	令和 8 年 8 月試料配付前日の土曜日	開催場所	未定
5)	内 容 開催日	結果の解析、再検査試料配布の検討 令和 8 年 9 月	開催場所	未定
6)	内 容 開催日	各施設への指導 令和 8 年 9 月～10 月	開催場所	各施設
7)	内 容 開催日	総合判定及び評価 令和 8 年 10 月初旬	開催場所	滋賀県臨床検査技師会会議室
8)	内 容 開催日	輸血部門報告会 令和 8 年 12 月初旬	開催場所	未定
9)	内 容 開催日	報告書の最終確認及び次年度の事業計画 令和 8 年 12 月～令和 9 年 1 月	開催場所	未定
(5)	一般部会			
	<ul style="list-style-type: none"> ・尿定性検査は尿試験紙・測定機器間差における是正を目的とする。代表項目 3 項目(蛋白・糖・潜血)各 2 濃度について実施し、評価を行う。 ・便潜血検査は採便手技・測定機器間差における是正を目的とする。3 濃度の擬似便の配布を行い評価する。 ・フォトサーベイ検査は尿沈渣検査、髄液検査を中心とした一般検査分野における形態検査の標準化を目的とする。JCCLS-GP1P4(尿沈渣検査法 2010)に基づき、基本的な成分について出題する。設問数は 11 問(内、1 問は教育問題)とし、髄液検査は細胞分類に関する設問を出題する。 			
1)	内 容 開催日	今年度の内容確認、役割分担、フォトサーベイ用写真の選定 令和 8 年 4 月	開催場所	野洲技師会会議室もしくは ZOOM
2)	内 容 開催日	試料配布準備の手順確認、フォトサーベイ問題の評価 令和 8 年 5 月末	開催場所	野洲技師会会議室もしくは ZOOM
3)	内 容 開催日	フォトサーベイ問題の最終確認 令和 8 年 6 月	開催場所	野洲技師会会議室もしくは ZOOM
4)	内 容 開催日	試料配布準備 令和 8 年 7 月	開催場所	済生会滋賀県病院
5)	内 容 開催日	試料配布 令和 8 年 8 月	開催場所	滋賀医科大学医学部附属病院
6)	内 容 開催日	集計結果持ち寄り、評価 令和 8 年 9 月	開催場所	野洲技師会会議室もしくは ZOOM
7)	内 容 開催日	部門別精度管理報告会前打ち合わせ 令和 8 年 11 月	開催場所	野洲技師会会議室もしくは ZOOM
8)	内 容 開催日	部門別精度管理報告会 令和 8 年 12 月	開催場所	未定

- | | | | | | |
|-----|-----|---------------|------|-------------------|--|
| 9) | 内 容 | 全体報告会 | | | |
| | 開催日 | 令和 9 年 3 月 | 開催場所 | 未定 | |
| 10) | 内 容 | 総括、次年度出題フォト検討 | | | |
| | 開催日 | 令和 9 年 3 月 | 開催場所 | 野洲技師会会議室もしくは ZOOM | |

(6) 細胞部会

フォトおよび染色サーベイを行う。

フォトサーベイ：各領域の基本的な症例を中心に、細胞像のとらえ方および推定病変までの導き方について、施設間差の有無を把握することを目的とする。設問の閲覧および解答には JAMT-QC を利用する。サーベイ終了後には「標本検討会」を行い、検鏡による確認も行う。

染色サーベイ：細胞診の一般染色である Papanicolaou 染色の染色性評価を目的とする。指定した材料の標本（各施設の子宮頸部擦過標本／共通未染標本）を提出していただき、標本検討会において、参加者および精度管理委員による 3 段階評価を行う。

- | | | | | | |
|----|-----|------------------------|------|---------------|--|
| 1) | 内 容 | 今年度の実施方法について | | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 4 月 22 日（水曜日） | 開催場所 | Web(ZOOM)会議 | |
| 2) | 内 容 | 症例の選択と解答選択肢考案 | | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 7 月 9 日（木曜日） | 開催場所 | Web(ZOOM)会議 | |
| 3) | 内 容 | 症例問題および染色標本の検鏡による比較検討会 | | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 9 月 12 日（土曜日） | 開催場所 | 長浜バイオ大学 | |
| 4) | 内 容 | 集計および結果評価 | | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 10 月 15 日（木曜日） | 開催場所 | Web(ZOOM)会議 | |
| 5) | 内 容 | 精度管理部会報告会 | | | |
| | 開催日 | 令和 9 年 1 月 16 日（土曜日） | 開催場所 | 滋賀医科大学医学部附属病院 | |

(7) 病理部会

HE 染色は病理組織診断をも左右する非常に重要な染色であることから、

染色・封入までの工程を実施して頂く。併せて特殊染色として PAS 染色を実施する予定。

- | | | | | | |
|----|-----|-----------------------|------|---------------|--|
| 1) | 内 容 | 会議（実施方法・内容についての検討） | | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 6・7 月 | 開催場所 | 淡海医療センター（予定） | |
| 2) | 内 容 | 試料配布 | | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 8 月 | 開催場所 | 滋賀医科大学医学部附属病院 | |
| 3) | 内 容 | 標本鏡検による判定会 | | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 9 月 | 開催場所 | 長浜バイオ大学（予定） | |
| 4) | 内 容 | 判定集計 | | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 10 月 | 開催場所 | 未定 | |
| 5) | 内 容 | 会議(判定結果および次年度案について検討) | | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 10・11 月 | 開催場所 | 淡海医療センター（予定） | |
| 6) | 内 容 | 報告書作成 | | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 11・12 月 | 開催場所 | 未定 | |
| 7) | 内 容 | 報告会 | | | |

開催日 令和 9年 1月

開催場所

滋賀医科大学医学部附属病院(予定)

(8) 微生物部会

・グラム染色は日常検査で見落としとしてはいけない菌や代表的な菌の標本を作製し、各施設にて実際にグラム染色を実施していただき、染色性および形態、推定菌名、臨床への報告コメント等について評価を行う。
・同定検査は食中毒などの起炎菌と血液や髄液などから検出される重要な菌を中心に出题し、同定菌名だけでなく同定過程、臨床への報告コメント等について評価を行う。
・薬剤感受性検査は内部精度管理株(ATCC株)を使用し、日頃の各施設の精度管理結果と比較できるように菌株を選定する。

- | | | | | |
|----|-----|-------------------------------|------|---------------|
| 1) | 内 容 | 令和 8 年度に使用する菌株の決定、役割分担の会議を行う。 | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 8 年 4 月 | | |
| 2) | 内 容 | 菌株の予備試験 | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 8 年 6 月 | | |
| 3) | 内 容 | 菌株の配布準備 | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 8 年 7 月 | | |
| 4) | 内 容 | 菌株の配布 | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 8 年 8 月 | | |
| 5) | 内 容 | 各項目の回答結果集計 | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 8 年 9 月 | | |
| 6) | 内 容 | 各集計結果に対する評価検討 | 開催場所 | 滋賀医科大学医学部附属病院 |
| | 開催日 | 令和 8 年 10 月 | | |
| 7) | 内 容 | 精度管理報告会(微生物部会) | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 8 年 12 月 | | |
| 8) | 内 容 | 精度管理報告会(全体) | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 9 年 3 月 | | |

(9) 遺伝子部会 (Covid-19-PCR)

新型コロナウイルス感染症は 5 類感染症へと移行し、感染症対策及び検査体制も整備されてきた。今後の新たな感染症に対応すべく滋賀県は新たに感染症予防計画を策定し、検査体制に関しても重要な政策として取り組まれている。今後とも充実した検査体制を進めるべく拡散増幅検査の精度維持に務める。

- | | | | | |
|----|-----|-------------------|------|----|
| 1) | 内 容 | 令和 8 年度に使用する菌株の決定 | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 8 年 4 月 | | |
| 2) | 内 容 | 菌株の予備試験、菌株の配布準備 | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 8 年 7 月 | | |
| 3) | 内 容 | 試料の配布 | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 8 年 8 月 | | |
| 4) | 内 容 | 各項目の回答結果集計 | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 8 年 9 月 | | |
| 5) | 内 容 | 各集計結果に対する評価検討 | 開催場所 | 未定 |
| | 開催日 | 令和 8 年 10 月 | | |

- 6) 内 容 精度管理報告会（微生物部会）
 開催日 令和 8 年 12 月 開催場所 未定
- 7) 内 容 精度管理報告会（全体）
 開催日 令和 9 年 3 月 開催場所 精度管理 全体報告会 会場

※担当理事の任期は令和 8 年定期総会まで

精度管理部門 委員	役名	氏名	所属施設
精度管理委員	委員長	元中 秀行	滋賀県立総合病院
精度管理担当理事	会 長	大本 和由	社会福祉法人恩賜財団 済生会守山市民病院
精度管理担当理事	部 長	小川 秀一郎	長浜バイオ大学
精度管理担当理事	会 計	曾川 知里	独立行政法人 公立甲賀病院

精度管理部門 委員	役名	氏名	所属施設
免疫化学部会	代表	足立 勇吾	大津赤十字病院
	副代表	松川 裕一	独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院
	副代表	山本 誉	滋賀県立総合病院
	委員	谷 和也	株式会社メディック
	委員	松田 哲明	大津赤十字病院
	委員	藤村 博和	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	前田 知広	近江八幡市立総合医療センター
	委員	近藤 拓哉	地方独立行政法人 市立大津市民病院
	委員	池本 早希	地方独立行政法人 公立甲賀病院
	委員	山田 佑真	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	加藤 遼	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	大橋 亮太	市立長浜病院
	委員	小杉 優樹	大津赤十字病院
委員	平 隆一	市立野洲病院	

血液部会	代表	上野山 恭平	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	櫻井 太紀	彦根市立病院
	委員	大津 一晃	大津赤十字病院
	委員	尾崎 和美	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	桐畑 美里	近江八幡市立総合医療センター
	委員	梅村 茂人	滋賀県立総合病院

生理部会	代表	松本 俊一	彦根市立病院
	委員	藤澤 義久	滋賀医科大学附属病院
	委員	駒井 貴美子	独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院
	委員	清水 千尋	彦根市立病院
	委員	山本 祐己	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	國本 龍河	滋賀県立総合病院
	委員	畑澤 里奈	長浜赤十字病院

輸血部会	代表	豊川 美文	彦根市立病院
	委員	山下 朋子	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	西村 好博	彦根市立病院

	委員	清水 陽子	南草津病院
	委員	吉見 裕美	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	古川 慎	長浜赤十字病院
	委員	今若 菜々美	市立長浜病院
一般検査部会	代表	朝枝 祐太	地方独立行政法人 公立甲賀病院
	委員	山田 真以	彦根市立病院
	会計	新井 未来	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	植松 耕平	独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院
	委員	西村 さとみ	長浜赤十字病院
	委員	余根田 直人	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	木下 連	高島市民病院
細胞部会	代表	小栗 大助	大津赤十字病院
	委員	山内 盛正	長浜赤十字病院
	委員	重野 恭子	近江八幡市立総合医療センター
	委員	山口 大	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	園滝 友衣奈	地方独立行政法人 市立大津市民病院
	委員	上林 悦子	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
病理部会	代表	吉田 章子	独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院
	委員	北川 勇一	近江八幡市立総合医療センター
	委員	大森 康旨	大津赤十字病院
	委員	岩根 京香	社会医療法人誠光会 淡海医療センター
	委員	尾本 明穂	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	清水 優輔	彦根市立病院
微生物部会	代表	元中 恵	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	福田 峻	彦根市立病院
	委員	塚口 扶美枝	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	向井 理紗	近江八幡市立総合医療センター
	委員	西野 万由実	長浜赤十字病院
	委員	補充要員調整中	
遺伝子部会	代表	近澤 秀己	近江八幡市立総合医療センター
	委員	木下 愛	京都大学医学部附属病院

Ⅶ. 学術部

臨床検査技師の生涯教育を推進するために、講演会・研修会・学会を開催する。基礎的および専門的な知識・技術の習得に加えて、タスク・シフト/シェア、および、多職種連携を見据えて今後さらに活躍できるスキルを持ち合わせた臨床検査技師の養成を目指す。

1. 学術部門長会議 年2回開催（令和8年4月、11月開催予定）
2. 滋賀医学検査編集委員会会議 年1回開催
3. 学術論文雑誌「滋賀医学検査」Vol.17の発刊
4. 第49回滋賀県医学検査学会（第3地区担当）
開催日：令和9年2月または3月 場所：未定
5. 学術部門活動

(1) 臨床免疫化学検査部門

免疫化学検査に関連する基礎知識や最新の技術など習得し、日常業務に活かすことを目的とする。

- | | | | | |
|----|-----|--------------|------|--------------|
| 1) | 内 容 | 血液ガス関連 (仮) | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 8 年 4 月 | 開催場所 | 未定 |
| | 講 師 | 未定 | | |
| 2) | 内 容 | 感染症関連 (仮) | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 5 月 | 開催場所 | 未定 |
| | 講 師 | 未定 | | |
| 3) | 内 容 | 動脈硬化関連 (仮) | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 8 年 7 月 | 開催場所 | 未定 |
| | 講 師 | 未定 | | |
| 4) | 内 容 | TDM 関連 (仮) | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 9 月 | 開催場所 | 未定 |
| | 講 師 | 未定 | | |
| 5) | 内 容 | 自動分析装置関連 (仮) | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 8 年 11 月 | 開催場所 | 未定 |
| | 講 師 | 未定 | | |

(2) 臨床生理部門

臨床生理検査を行う上で必要となる基本的な知識や技術の習得および最新情報のアップデートを目的とする
とともに、それらを共有、意見交換の場として研修会を開催する。

- | | | | | |
|----|-----|--------------|------|--------------|
| 1) | 内 容 | 心電図について① | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 8 年 6 月予定 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講 師 | 県内技師 | | |
| 2) | 内 容 | 呼吸機能検査について | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 8 年 7 月予定 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講 師 | 県内技師 | | |
| 3) | 内 容 | 脳波検査について | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 8 月予定 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講 師 | 県内技師 | | |
| 4) | 内 容 | 頸部超音波検査について | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 9 月予定 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講 師 | 県内技師 | | |
| 5) | 内 容 | 心臓超音波検査について | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 8 年 9 月予定 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講 師 | 県内技師 | | |
| 6) | 内 容 | 腹部超音波検査について | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 10 月 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講 師 | 県内技師 | | |
| 7) | 内 容 | 心電図検査について② | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 11 月 | 開催場所 | 県内施設 |
| | 講 師 | 県内技師 | | |

(3) 臨床血液部門

血液検査における知識や技術を参加者の方々と共有し、習得および再確認することを目的とする。また、
会員同士の交流・情報交換の場を提供し、日々の疑問や問題の解決に役立てる。

- | | | | | |
|----|-----|---------------------------|------|--------------|
| 1) | 内 容 | 症例検討会 | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 6 月 (未定) | 開催場所 | 県内施設 (現地開催) |
| | 講 師 | 臨床血液部門委員および滋賀臨技学会員 (未定) | | |
| 2) | 内 容 | 血液寄生の寄生虫について (一般部門との合同開催) | | |
| | 開催日 | 令和 8 年 月 (未定) | 開催場所 | 未定 |
| | 講 師 | 松村 隆弘 先生 (北陸大学) | | |
| 3) | 内 容 | CBC 検査および血球形態に関する勉強会 | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和 8 年 12 月 (未定) | 開催場所 | 県内施設 (現地開催) |
| | 講 師 | (未定) | | |

- 4) 内 容 遺伝子染色体検査に関する勉強会（遺伝子・染色体部門との合同開催） 日臨技生涯教育推進研修会
 開催日 令和8年2月（未定） 開催場所 県内施設（現地開催）
 講師 メーカー講師および臨床血液部門委員（未定）
- (4) 病理細胞部門
 病理・細胞検査業務に必要な知識の取得・技術の向上を目的とする。
- 1) 内 容 フローサイトメトリーの基礎（仮） 日臨技生涯教育推進研修会
 開催日 令和8年6月（仮） 開催場所 Web開催
 講師 滋賀医科大学医学部附属病院 池本 敏行先生
- 2) 内 容 リンパ腫の細胞像、フローサイトメトリーについて 日臨技生涯教育推進研修会
 開催日 令和8年7月（仮） 開催場所 滋賀医科大学
 講師 滋賀医科大学医学部附属病院 池本 敏行 先生
 京都市立病院 野田 みゆき 先生
- 3) 内 容 精度管理標本の検討
 開催日 令和8年9月（仮） 開催場所 長浜バイオ大学
 講師 未定
- 4) 内 容 中皮腫について（仮） 日臨技生涯教育推進研修会
 開催日 令和8年12月（仮） 開催場所 Web開催
 講師 未定
- 5) 内 容 尿検体にみられる異型細胞について（一般部門との合同開催） 日臨技生涯教育推進研修会
 開催日 令和8年 月（未定） 開催場所 未定
 講師 岩本 望 技師（滋賀医科大学医学部附属病院）
- (5) 臨床一般部門
 日常業務に必要となる基礎的および専門的な知識・技術の習得を目的に研修会を開催する。また会員同士の交流・情報交換の場としてだけでなく、今後の安定的な技師会活動のための新たな人材発掘や育成を目的とする。
- 1) 内 容 ① 尿定性検査の基礎
 ② 認定一般検査技師への道
 開催日 令和8年6月（未定） 開催場所 未定
 講師 ① メーカー
 ② 奥村 秀太 技師（地方独立行政法人 公立甲賀病院）
- 2) 内 容 尿検体にみられる異型細胞について（病理部門との合同開催） 日臨技生涯教育推進研修会
 開催日 令和8年 月（未定） 開催場所 未定
 講師 岩本 望 技師（滋賀医科大学医学部附属病院）
- 3) 内 容 血液寄生の寄生虫について（血液部門との合同開催）
 開催日 令和8年 月（未定） 開催場所 未定
 講師 松村 隆弘 先生（北陸大学）
- 4) 内 容 ① 髄液検査の基礎 日臨技生涯教育推進研修会
 ② 穿刺液検査の基礎
 開催日 令和8年12月（未定） 開催場所 未定
 講師 ① 県内講師
 ② 早寄 邦子 技師（近江八幡市立総合医療センター）
- 5) 内 容 尿沈渣症例検討（3症例）
 開催日 令和9年1月（未定） 開催場所 未定
 講師 県内講師3名
- (6) 輸血細胞治療部門
 輸血検査の基礎的な講習会や実技講習会を開催する。また、滋賀県下の施設で安全な輸血医療が行われるために、輸血療法全般に関する学術講演会を開催するほか、チーム医療の観点から滋賀県輸血療法委員会との共同事業として他職種を交えての公開研修会も開催する。
- 1) 内 容 輸血検査基礎講習会 日臨技生涯教育推進研修会
 開催日 令和8年5月24日（日）14:00～ 開催場所 市立大津市民病院
 講師 輸血細胞治療部門委員ほか
- 2) 内 容 輸血検査実技講習会 日臨技生涯教育推進研修会

- | | | | | |
|-----|--|--------------------------------|------|--------------|
| | 開催日 | 令和8年7月26日(日)9:00~ | 開催場所 | 長浜バイオ大学 |
| 3) | 講師 | 輸血細胞治療部門委員ほか | | |
| | 内容 | 輸血検査学術講演 | | |
| | 開催日 | 令和8年9月17日(木) | 開催場所 | Web開催 |
| | 講師 | 未定 | | |
| 4) | 内容 | 輸血検査学術講演会 | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和8年12月5日(土)13:30~ | 開催場所 | 未定 |
| | 講師 | 輸血細胞治療部門委員 | | |
| 5) | 内容 | 輸血医療学術講演会(滋賀県輸血療法委員会共同事業) | | |
| | 開催日 | 令和9年2月6日(土)14:00~ | 開催場所 | 未定 |
| | 講師 | 未定 | | |
| (7) | 臨床微生物部門 | | | |
| | 微生物検査を始めて間もない技師を対象とした基礎的な研修会を開催し、県下技師のレベルアップを行う。また、応用編として病原体遺伝子検査や糸状菌などの特殊検査についてもエキスパート講師による研修会を実施し最新知見を会得し日々の業務に活かす。 | | | |
| 1) | 内容 | 今更聞けない?初心者大歓迎!耐性菌の基礎 | | |
| | 開催日 | 令和8年5月末(未定) | 開催場所 | 未定 |
| | 講師 | 県内技師(認定臨床微生物検査技師資格保有者を想定) | | |
| 2) | 内容 | 基礎実技研修会(試験管培地・血清凝集反応) | | |
| | 開催日 | 令和8年6月末(未定) | 開催場所 | 未定 |
| | 講師 | 県内技師(研究班班員) | | |
| 3) | 内容 | 糸状菌の同定・感受性検査について | | |
| | 開催日 | 令和8年8月(未定) | 開催場所 | 未定 |
| | 講師 | 大阪公立大学 仁木 誠 技師 | | |
| 4) | 内容 | 病原体遺伝子検査(PCR検査の基礎、精度管理等) | | |
| | 開催日 | 令和8年10月(未定) | 開催場所 | 未定 |
| | 講師 | 奈良県総合医療センター 北川 大輔 技師 | | |
| 5) | 内容 | 薬剤耐性菌に関する最新知見 | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和8年12月(未定) | 開催場所 | 未定 |
| | 講師 | 京都橋大学 健康科学部 臨床検査学科 教授 中村 竜也 先生 | | |
| 6) | 内容 | 結核とそれに付随する検査
画像から見る呼吸器感染症 | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和9年1月(未定) | 開催場所 | 未定 |
| | 講師 | 未定 | | |
| (8) | 遺伝子・染色体部門 | | | |
| | 遺伝子・染色体検査を取り巻く環境は日々進歩しており、正確な知識と標準的な手技の習得がこれまで以上に求められている。本研修会では、基礎から最新動向までを体系的に学び、検査精度の向上と施設間格差の是正を図ることで、信頼される遺伝子検査の実践力を高める。 | | | |
| 1) | 内容 | 未定 | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和8年10月(未定) | 開催場所 | Web開催 |
| | 講師 | 未定 | | |
| 2) | 内容 | 遺伝子染色体検査に関する勉強会(血液部門との合同開催) | | 日臨技生涯教育推進研修会 |
| | 開催日 | 令和8年2月(未定) | 開催場所 | 県内施設(現地開催) |
| | 講師 | メーカー講師および臨床血液部門委員(未定) | | |
| (9) | 学術部門 | | | |
| | 次期新興感染症に備え、PCR検査や検体採取をできる人材育成を目指す。 | | | |
| 1) | 内容 | PCR検査(精度管理含む) | | |
| | 開催日 | 令和8年 未定 | 開催場所 | 長浜バイオ大学 |
| | 講師 | メーカー学術担当者 | | |
| 2) | 内容 | 検体採取 | | |
| | 開催日 | 令和8年 未定 | 開催場所 | 未定 |
| | 講師 | 医師、県内技師 | | |
| 3) | 内容 | データの見方、考え方 | | 日臨技生涯教育推進研修会 |

開催日 未定
 講師 県内講師

学術部門 委員	役名	氏名	所属施設
臨床免疫化学部門	部門長	一瀬 亮介	地方独立行政法人 市立大津市民病院
	副部門長	齊藤 健太	地方独立行政法人 公立甲賀病院
	会計	山本 誉	滋賀県立総合病院
	委員	松川 裕一	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院
	委員	松田 哲明	大津赤十字病院
	委員	元中 秀行	滋賀県立総合病院
	委員	藤村 博和	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	平 隆一	市立野洲病院
	委員	塚元 菜月	滋賀県立総合病院
	委員	前田 知広	近江八幡市立総合医療センター
	委員	池田 省一郎	高島市民病院
	委員	足立 朱里	大津赤十字病院
	委員	磯部 翔来	長浜赤十字病院
臨床生理部門	部門長	栗本 明典	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	副部門長	駒井 貴美子	独立行政法人地域医療機能推進機構 滋賀病院
	副部門長	中島 辰也	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	会計	大西 萌	地方独立行政法人 公立甲賀病院
	委員	藤澤 義久	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	鮎川 宏之	滋賀県立総合病院
	委員	森 亘平	地方独立行政法人 市立大津市民病院
	委員	近藤 里帆	彦根市立病院
	委員	三宅 穂岳	滋賀県立総合病院
臨床血液部門	部門長	中西 良太	滋賀医科大学医学部附属病院
	副部門長	田邊 正喜	彦根市立病院
	会計	中川 美波	長浜赤十字病院
	委員	中川 和美	社会医療法人誠光会 淡海医療センター
	委員	深田 晃穂	地方独立行政法人 市立大津市民病院
	委員	森地 祥太郎	滋賀県立総合病院
	委員	森田 正登	大津赤十字病院
	病理細胞部門	部門長	森口 裕紀
副部門長		古賀 一也	市立長浜病院
会計		谷村 満知子	滋賀医科大学医学部附属病院
委員		舛重 成美	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
委員		高山 そら	大津赤十字病院
委員		森 優華	滋賀県立総合病院
委員		土田 弘次	長浜赤十字病院
臨床一般検査部門	部門長	山田 真以	彦根市立病院
	副部門長	新井 未来	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	会計	奥村 秀太	地方独立行政法人 公立甲賀病院

	委員	市浦 康子	独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院
	委員	横江 真由華	滋賀県立総合病院
	委員	松田 哲明	大津赤十字病院
	委員	岩本 望	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	坂口 陽月	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
輸血細胞治療部門	部門長	山中 博之	近江八幡市立総合医療センター
	副部門長	三島 賀美	地方独立行政法人 市立大津市民病院
	会計	森野 真平	大津赤十字病院
	委員	中川 和美	社会医療法人誠光会 淡海医療センター
	委員	吉田 正明	独立行政法人地域医療機能推進機構 大和郡山病院
	委員	山下 朋子	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	齊藤 健太	地方独立行政法人 公立甲賀病院
	委員	清水 陽子	南草津病院
	委員	藤居 大貴	長浜赤十字病院
臨床微生物部門	部門長	高橋 春菜	大津赤十字病院
	副部門長	谷川 翔平	滋賀医科大学医学部附属病院
	会計	加藤 香	地方独立行政法人 公立甲賀病院
	委員	近澤 秀己	近江八幡市立総合医療センター
	委員	秋井 啓輔	滋賀県立総合病院
	委員	中村 華菜	彦根市立病院
	委員	西村 晴香	社会福祉法人恩賜財団 済生会滋賀県病院
	委員	木下 愛	京都大学医学部附属病院
遺伝子・染色体部門	部門長	大森 康旨	大津赤十字病院
	副部門長	加藤 遼	滋賀医科大学医学部附属病院
	会計	岩本 望	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	中西 良太	滋賀医科大学医学部附属病院
	委員	入野 保	自宅

VIII 事業予算

別ファイル参照